

は じ め に



■ 総合計画に込めた思い…

このたび、令和2年度を初年度とする「松阪市総合計画～明るいわ！楽しいわ！松阪やわ！～」を策定しました。

今回の総合計画では、前総合計画の基本構想期間中であることから、10年後の将来像「ここに住んで良かった…みんな大好き松阪市」を引き継いでいます。市民のみなさまはもちろんのこと、松阪市に職場があって働いている人も、観光で訪れた人も、様々な形でご縁のある方々全てが「大好き松阪市」と感じられるまちをめざしていきたくと考えています。

現在、松阪市は少子高齢化や若い年代の市外への人口流出が進み、人口減少と超高齢社会が大きな課題となっています。また、この総合計画の策定期間中に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会情勢が根本から変化し、これまで築き上げてきた社会の仕組みや価値観が大きく変わり、その変化への対応は、感染症対策だけでなく、子どもたちの教育環境の整備、雇用の維持、経済活動の回復への支援など多岐に渡っています。このような社会情勢の変化や市民ニーズをしっかりと把握し、人口減少や超高齢社会への対策など横断的な取組も含め、総合計画で掲げた政策・施策を実行していきます。そして、市民のみなさまと行政が一緒になって、「ここに住んで良かった」「大好き松阪市」と感じられるまちを実現していきましょう。

最後に、総合計画の策定にあたり、市民3,000人を対象とした「市民意識調査」、パブリックコメント、コロナ禍での開催となりました「松阪市の未来を語る会」や「松阪市総合計画審議会」等において、貴重なご意見をいただきました市民のみなさまをはじめ、関係者の方々へ感謝を申し上げます。

令和3年2月
松阪市長 竹上 真人